

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 53番
- *交読文 …………… 45番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 174番
- 礼拝のための祈り ……… 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 …………… 408番
- メッセージ …………… 父の日礼拝 – 聖書における父親像(エペソ 6:1-4)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 404番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

妻たる者よ、夫に仕えなさい。それが、主にある者にふさわしいことである。夫たる者よ、妻を愛しなさい。つらくあたってはいけない。子たる者よ。何事についても両親に従いなさい。これが主に喜ばれることである。父たる者よ、子供をいらだたせてはいけない。心がいじけるかも知れないから。(コロサイ3:18-21)

すべて主をおそれ、主の道に歩む者はさいわいである。

____は自分の手の勤労の実を食べ、幸福で、かつ安らかであろう。____の妻は家の奥にいて／多くの実を結ぶぶどうの木のようにであり、____の子供たちは食卓を囲んで／オリブの若木のようにである。見よ、主をおそれる____は、このように祝福を得る。主はシオンから____を祝福されるように。____は世にあるかぎり、____の家というエルサレムの繁栄を見、また____の子らの子を見るであろう。どうぞ、____の家というイスラエルの上に平安があるように。(詩篇128篇)

本日は父の日である。そこで今日は、聖書の中では父は本来、どのような存在であるのかを学びたい。**父は一家の長である。**なぜなら聖書には、子は父母を敬う事が命じられており(出 20:12)、夫は妻の頭であると定められているからである。(エペソ 5:23) それ故、父は、家族の長として、家族を霊的に正しく治める義務が、主から与えられており、家族もそれをわきまえて、父に接すべきなのだ。

聖書の中で、父親は、主の教育と訓戒によって子供を育てる事が命じられている。『父たる者よ。子供をおこらせしないで、主の薫陶と訓戒とによって、彼らを育てなさい。』(エペソ 6:4) 近年、日本では「友達親子」の風潮により、親子は上下関係より、友人のようなフラットな関係が良いという価値観が蔓延していたが、その結果、親の権威が失墜してしまった。年頃の女の子が、公の場で、平気で「おやじキモい」などと言っているのは、海外の人が聞けば驚き呆れるし、一昔前ではあり得ない事だ。模範とすべき父親像が不在のまま、誤ったガイドラインで親の世代も子の世代も育ててしまった結果である。この「主の薫陶と訓戒」は、御言葉というガイドラインに添って行うものであり、御言葉を知れば知るほど、主の教育は正しく行う事が出来、一家の長たる確信と権威が増し加わって行く。**父の最たる模範は、父なる神**であり、ガイドラインは御言葉だ。それを自覚する一家は、祝福される。

天の父なる神の愛は、センチメンタルな愛ではなく、ストロングな愛である。近年の日本の家庭で、特に無くなっているのは、子にむちを加える事である。それは今や体罰という名のタブーとなっているが、聖書は明確に、子から愚かさを除くためには、むちを加えるように記されている。『むちを加えない者はその子を憎むのである、子を愛する者は、つとめてこれを懲らしめる。』(箴言 13:24) 『むちと戒めとは知恵を与える、わがままにさせた子はその母に恥をもたらす。』(箴言 29:15) 愛には痛みが伴う。その痛みを乗り越えた向こう側の、さらに優れたいのちを得るために、一時の痛みを辞さない愛を、父なる神は、ひとり子を与えて下さった愛によって示して下さい。アブラハムもそうである。今の日本では、アブラハムはあまりいい父とは言えないかもしれない。なにしろ、一人息子のイサクを縛って、薪の上に載せ、刃を向けたのだから。しかし、そのひとり子の死を辞さないほどの御言葉への従順が、イサクのその後の人生に、この上ない祝福をもたらしたのだ。

また、祝福される家庭となるために、父親は何より主を恐れるべきであり、一家の中で祭司となるべきある。アブラハムも、イサクも、ヤコブも、信仰の父祖達は、例外なく主を恐れ、一家を祝福する祭司であった。大富豪であるヨブは、子供達の誕生日の祝いが一巡する度に、彼等と呼び寄せ聖別することにしていた。『彼は翌朝早く、彼らひとりひとりのために、それぞれの全焼のいけにえをささげた。ヨブは、「私の息子たちが、あるいは罪を犯し、心の中で神をのろったかもしれない。」と思ったからである。ヨブはいつもこのようにしていた。』(ヨブ 1:5) このように、いつも子を覚えて祝福する一家は、大富豪一家の特徴である。また、ダビデも家族を祝福していた(2サムエル記 6:20)が、妻の一人ミカルは、彼を心の中でさげすみ、軽んじたため、一生、子が無かった。(2サムエル記 6:16-23) また、ノアの息子・セム、ハム、ヤペテのうち、ハムは、恐れ敬うべき父の天幕に入って行き、そこで見つけた父の裸をじっくりと見、兄弟たちに言いふらし、来て一緒に見るよう招いたため、父から呪いを受けてしまった。それに対しセムとヤペテは、父の裸を見ないよう後ろ向きに歩いて裸を覆ったため、祝福を受けた。以上のように、祝福をさげすむ立場である「父」を蔑んだり、軽んじたり、その秘密をあげつらって、他に言いふらすような者は、子々孫々呪われるが、父を敬う人は、子々孫々とも祝福される。『子たる者よ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことである。「あなたの父と母とを敬え」。これが第一の戒めであって、次の約束がそれについている、「そうすれば、あなたは幸福になり、地上でながく生きながらえるであろう。』(エペソ 6:1-3) 子にとっては、父母を敬うことが幸福の秘訣であり、妻は夫に従う事が御心であり、父は、父なる神に見習い、御言葉のガイドラインに従って一家を正しく治める事。それが、その家が繁栄する秘訣である。

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報

集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

日々の集会

月～金	早天祈禱会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈禱会	19:30～

水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト

